

◆ 研究論文について ◆

鳥本靖子が執筆、客員研究員の五十嵐歩が共著の論文「Female family caregivers face a higher risk of hypertension and lowered estimated glomerular filtration rates: a cross-sectional, comparative study (女性家族介護者は高血圧と推定糸球体濾過量の低下リスクに直面する)」が国際学術誌 BMC Public Healthに掲載されました。BMC Public Health 2015,15:177 doi:10.1186/s12889-015-1519-6

◆ 研究報告書 ◆

澤岡詩野:「平成26年度生涯現役社会づくりに関する活動の国際比較研究(厚生労働省老人保健健康増進等事業)」(国際長寿センター事業)

◆ 寄稿 ◆

石橋智昭:「介護QIでサービスの質の向上を(特集;介護の質の向上とアウトカム評価)」

『シルバー産業新聞(2014年10月10号)』

石橋智昭:「MDSからインターライへ;アセスメントデータを質の評価に活用」

『月刊ケアマネジメント(2015年2月号)』

石橋智昭:論壇「生きがい就業を支えるシルバー人材センターのシステム」

『老年社会科学(37巻第1号、4/20発行)』

◆ 財団アンケート ◆

「仕事と介護の両立と介護離職に関する調査」報告書

明治安田生活福祉研究所と共同で実施した標記アンケート調査の報告書(最終版)が3月に完成したので、ホームページで公開しました。

◆ トピックス ◆

「生きがい就業の介護予防効果に関する共同研究」の参加センター

2007年、町田市(東京都)のシルバー人材センターからスタートし、2015年3月現在では町田市、大阪府(6センター)、奈良県(4センター)、埼玉県(7センター)が参加し計18センターとなりました。4月には新たに兵庫県8センターが加わる予定です。

◆ ダイヤ財団新書35の発行 ◆

「ストップ 介護離職!」～介護と仕事の両立を考える～

昨年11月に丸の内 MY PLAZA ホールで開催した財団シンポジウムの内容を書籍にして発行しました。ご希望の方は、財団までご連絡ください(無料)。

◆ 財団職員の異動について ◆

3月31日付けで、阿部詠子研究員が離任しました。また、4月1日付けで、森義博と南部光男が明治安田生命保険より着任しました。

4月23日付けで、奥野哲(企画調査部長)が離任しました。

表紙写真について

『旧鳩山一郎邸のステンドグラスの饗宴』 井出昭一

これまで、重文指定の建物のステンドグラスを紹介してきましたが、指定外の建物にも素晴らしい作品がありますので、それらを順次紹介します。

最初に紹介するのは“音羽御殿”と呼ばれるイギリス風の洋館・旧鳩山一郎邸(現:鳩山会館)です。これは鳩山の竹馬の友で“様式建築の鬼才”といわれた建築家・岡田信一郎が設計し、関東大震災の翌年の大正13年に竣工しました。都心にありながら太平洋戦争を無事に乗り越えて現存する大正期の建築として貴重な建物です。

この建物には玄関の上部、応接室、食堂、サンルームなど随所にステンドグラスが使われていますが、最大の作品は階段室の踊り場の壁面を飾る塔の上を鳩が飛び交っているデザインのもので、特に塔の部分の手法は精緻を極め実に見事です。制作したのは、日本におけるステンドグラスの草分け・小川三知で、旧鳩山邸では小川三知の多才なステンドグラスの饗宴を堪能できます。